



# 国際協力事業の'サステナビリティ'を考える ：ミャンマーでの事例を踏まえて

～『誰一人として取り残さない』社会の実現に向けて～

「環境と開発の両立」は古くて新しい問題ですが、国際協力事業実施にあたっては、自然環境のみならず、非自発的住民移転等社会面も考慮した環境社会配慮の取り組みが模索されてきました。これは、SDGsの「誰一人取り残さない」という基本理念や「人間の安全保障」「質の高いインフラ」にも通じるものです。今回は、多くの途上国において現場の最前線で活動されてきた日本工営株式会社SDGs&CSR戦略ユニット長の菊池淳子氏をお招きし、ミャンマーでの事例を中心に住民目線での環境社会配慮の実践につきご講演いただきます。

グローバル文化学環「国際協力特論」の一環として実施しますが、履修者以外の学生・教職員でも参加可能です。関心のある方は是非ご参加ください。

日時

12月20日(月)

13:20~14:50

形式

オンライン開催

※Zoom、要事前申込



講師 菊池淳子氏

日本工営株式会社  
環境技術部SDGs & CSR戦略  
ユニット長

大学では農学部で植物育種学を専攻。8年間の地方自治体勤務を経て、大学院で環境と開発学を修了。NGOsやJICAガーナ事務所にて海外での国際協力業務経験を積み、開発コンサルタントに就職。現在までにアジア、アフリカ、南米各国の海外案件に従事。現在は、日本工営株式会社環境技術部SDGs & CSR戦略ユニット、ユニット長として、民間とODA事業におけるSDGs推進業務に従事している。また、海外コンサルタンツ協会 (ECFA) サステナブル推進チーム、チームリーダーを務める。

申込  
方法

件名を「12月20日公開講座」とし、本文に氏名、所属、学年、E-mailを明記の上、グローバル協力センターまでメールしてください。※「国際協力特論」履修生は申込不要

